



☆ 自立と感謝が育った 修学旅行 ☆

緑学年の皆で過ごしたこれまでの足跡を大切にしながら、修学旅行を更なる成長の場にしたい、という思いで臨んだ3日間の修学旅行はとても充実したものとなりました。

自分たちで考えて行動する場面が多く、東京という慣れない地での活動は、きっと大変なことも多かったと思います。それでも時間通りに、無事に活動することができました。まさに「自立」した姿をたくさん見ることができたよい機会になりました。そして、学年レクリエーションにおけるホテルの宴会場の熱気は、緑学年のかけがえのない財産になったと思います。以下に、各クラスの生徒の感想を掲載します。

2泊3日の行事は当たり前に行えることじゃなく、リーダー会や先生など、いろいろな人が何時間もかけて作りあげてくれたからこそ、成功できたと思います。普段の学校生活では見えなかったクラスメイトの新たな面が見えたり、それぞれが自立しようという意志を持って行動したりすることができました。修学旅行を通して、先生や友達のことがもっと好きになりました。(1組Sさん)

ディズニーでは、キャストの方や カストーディアルの人に働くきっかけや、やりがいを聞き、実際の雰囲気を知れて、将来の仕事についての考え方が変わり、視野が広がりました。自分がやりたいことだけでなく、班の人たちの意見もとり入れたり、あまり話したことがない人とも話せたりして、クラスの子との絆が深まったと思いました。これからの学校生活でも感謝やあいさつを大切に過ごしていきたいです。(1組Iさん)

修学旅行を終えて私は少し自立ができたのではないかなと感じました。東京の班別研修では私が班長だったので、電車の乗り換えや目的までの道を完璧に教えようとやってみたのですが、すぐに迷子になってしまいました。その時に班の子がすぐに手伝ってくれて、すごく助けられました。今後は自分で挑戦していきながら壁に当たってしまったときは友達に頼ったりもしながらがんばっていかうと思いました。(2組Tさん)

修学旅行を通して、班のメンバーだけでなく、クラスや学年のみんなと深く関わることができました。特に、1、2日目は、班のみんなと過ごす時間が多く、普段見られない一面なども見ることで楽しく過ごすことができました。また、多くの人に支えられた3日間で、たくさんの「感謝」があふれる修学旅行でした。(2組Mさん)



1 日目の ディズニーでは、キャストの方に働くことの楽しさや大変なことを聞きました。お客さんに「ありがとう」と感謝されることで、楽しくなったり、うれしくなったりすると、教えてくれました。2 日目は、電車にあまり乗らないので分からなくて友達についていくことしかできなかったけど、目的地については、いろいろ食べたり買ったりできて、楽しかったです。(3組Kさん)



この修学旅行で、友達やクラスメイトの新たな面を知ることができました。また、駅や道路などの移動の機会が多く、メリハリのつけ方や、公共のマナーについて各々が考えて行動できました。たくさんの先生方や旅行会社の方、リーダー会のみんなが時間をかけてこの修学旅行のために尽力してくれたので、感謝の気持ちを忘れないようにしたいです。(3組Tさん)



色々なところに行って、たくさんのことができて楽しかったです。そして、目標である「自立」がしっかりとできたと思います。初めてたくさん電車に乗ったり、ディズニーのキャストに質問したり、子供だけで東京を周ったりして、人生で「初」がたくさんできて、大人になったような気分になったりした。それは、たくさんの人たちの協力のおかげだと思いました。(4組Oさん)



修学旅行、すごく楽しかったです！学びの面では、普段見ることのない東京という町、自分達で考えて行動すること、関わってくださった方々への感謝など、様々なことを学びました。目標の「自立」も達成できたと思います。何年も前からずっと楽しみにしていた修学旅行があっという間に終わってしまいさびしいです。もう 1 回修学旅行があれば良いのにとおもいます。そのくらい、素敵な修学旅行でした！（4組Tさん）



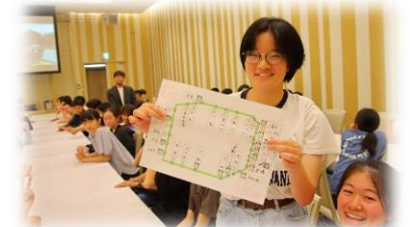
修学旅行に行って、みんなとの仲が深まったと思った。ディズニーでは、友達ともっと仲良くなって、待ち時間も楽しく話すことができた。東京班別研修では、電車をうまく乗れるように、みんなで協力したり、一般の方に迷惑をかけないようにしたりすることができた。カップヌードルミュージアムと中華街では、マナーを守って、楽しむことができて、すごく成長できたなと思った。(5組Wさん)



しおりのとおりに動けるか不安があったけど、自分たちで声をかけ合ったり、自分で考えて動いたりすることができたので良かったと思いました。また、外で歩いて移動するときに 2 列や 1 列になって歩くなど、他の人のことを考えて行動することができて良かったです。他にも良い行動がたくさんあったので、そういう行動を日常生活でこれからも意識していきたいと思いました。(5組Iさん)



修学旅行に行く前は、すごく自由が多く、楽しみでした。しかし、実際にはとても大変で、ディズニーの限られたエリアでも、はぐれることもあると分かりました。そこで、クラスメイトが支えてくれて、必死で探してくれたおかげで、絆も深まりました。クラスメイトの新たな面も見えて良かったで



す。(6組Tさん)

私は修学旅行でたくさんのことを学びました。特に、見えな
い所で支えてくれている人への感謝です。修学旅行へ行ける
ように準備して下さった先生方や両親、電車バスの運転手さ
ん、ディズニーのキャストさん、ホテルの方々、お店の人など
…、とてもたくさんの人が私たちのことを支えてくれていた
と気づきました。普段の生活ではもっと多くの人に支えられていると思うので、ずっと感謝の気持ちを持って
過ごしたいと思いました。(6組Uさん)



修学旅行で一番楽しかったことは、「友達と一緒に過ごしたホテルの
部屋」です。普段は見られない友達の一面を知ることができたり、色々
な話を長い時間することができたりして、ずっと笑っていました。周
りの人に迷惑をかけずに過ごすこともできて、すごく良かったと思
います。とても楽しい思い出になりました。(7組Iさん)



修学旅行を終えて、クラスの団結力、絆が深まったなと感じました。
学年レクでは、みんながクラス代表の人たちを応援したり、暗記ゲームで
は一人一人が自分の覚えるべきものを覚えたりして、協力できたと思
いました。普段あまり話すことの無い子と話すことができ、とても嬉し
かったです。すごく充実した3日間で、時間が過ぎていくのがあっという間
でした。こんなに楽しい修学旅行にしてくれたリーダー会の人たち、先生
たち、そして緑学年のみんなに「感謝」しかありません！(7組Wさん)

